

科目名		測量学概論			
担当教員		稲田 巧		実務授業の有無	○
対象学科	測量建設科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	前半では測量をこれから学習する上で必要な事柄について概要に触れる。後半については、2年次に受験する「測量士補」の合格を目指し、まだ学習していない分野ではあるが、過去問題を解くことを中心に授業を行う。				
学習目標 (到達目標)	地心直交座標系ITRF94、球面座標系、地球楕円体GRS80、平面直角座標系、ジオイドについて完全に理解する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	受験テキスト：日本測量協会 測量士補計算問題の解法・解説 他プリント、資料を配布する。				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	測量の定義・目的 測量の一般的分類		基本測量、公共測量、基本測量および公共測量以外の測量を学習する。		
2	国家基準点		三角点と水準点の種類、電子基準点		
3	測量法による原点 測量の基準面		地球の形状、地上の位置の表し方、日本経緯度原点と日本水準原点		
4	測量の基準 測量の基準面		GNSS測量、地球楕円体、GRS80楕円体、平面直角座標系、方位角、方向角、磁針方位角のそれぞれの関係		
5	測量に関する法規		測量法と作業規定の準則を学習する。		
6	中間試験		1から5までの範囲で行う。		
7	多角観測手簿の練習		水平角、鉛直角の手簿の記入による角度への理解を深める。		
8	距離直読式観測簿		距離計測した場合の観測簿の記入、計算方法を理解する。		
9	測量士補対策授業		測量に関する法規、基準点分野を学習する。		
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
	課題	取組姿勢	評価テスト		
%	10 %	10 %	80 %	ぜひ2年次に受験する「測量士補」の国家試験に合格してほしい。勉強を通して測量に関する基礎知識を習得し、測量士補としてふさわしい実力をつけてもらいたい。	
成績評価基準は					
A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	測量会社にて測量業務24年				